

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/02/29

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.98	0.11
JPY/THB	0.2388	0.0005
USD/JPY	150.69	0.18
EUR/THB	39.00	0.09
EUR/USD	1.0838	-0.0006
USD/CNH	7.214	0.000
SGD/THB	26.72	0.03
AUD/THB	23.37	-0.10
USD/INR	82.93	0.03
USD Index	103.98	0.15

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.250	0.013
10Y (THB)	2.560	0.004
5Y (USD)	4.261	-0.051
10Y (USD)	4.264	-0.039

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,042.7	8.7
WTI (Oil)	78.54	-0.33
Copper	8,448.5	-25.5

Stock

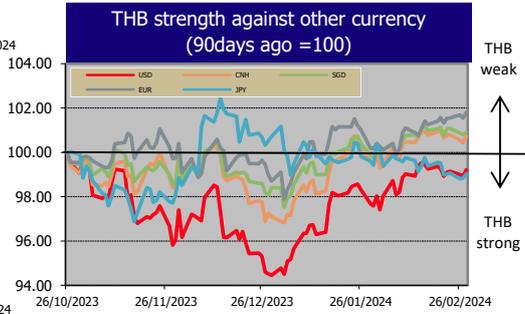
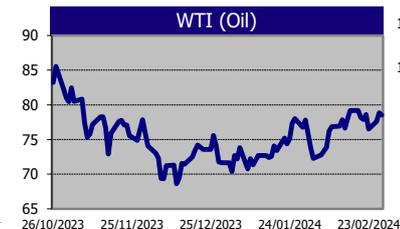
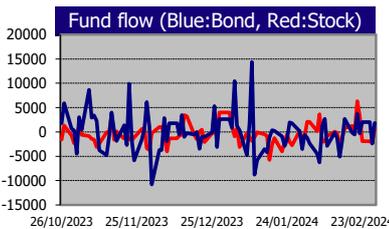
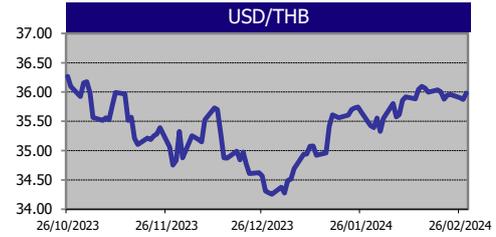
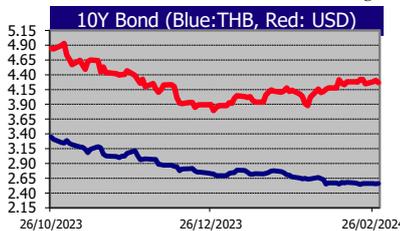
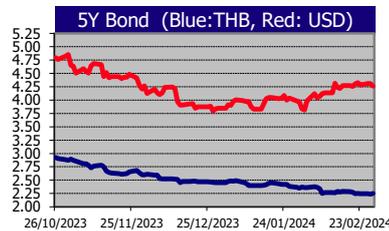
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,382.05	-11.65
NIKKEI (JP)	39,208.03	-31.49
DOW (US)	38,949.02	-23.39
S&P500 (US)	5,069.76	-8.42
SHCOMP (CN)	2,957.85	-57.63
DAX(GER)	17,601.22	44.73

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	743	3042.7
Bond net flow	1,837	4203.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇。35パーツ台後半で取引を開始すると、ニュージーランド中銀(RBNZ)が金利据え置きを決定。一部金利引き上げを予想する向きも見られていただけにインパクトは大きく、声明文が予想よりもハト派であったことも相俟ってニュージーランドドルは対ドルで大きく下落。そのドル買いが他通貨にも波及する格好となり、ドルパーツも36パーツ台前半まで上昇した。上昇一服後、海外時間に発表された強弱入り混じる米国経済指標の結果に上下するも、36パーツちょうどを挟んだ小幅な値動きに留まり、そのまま35.98レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は僅かに上昇。150円台半ば付近の水準で取引を開始すると、RBNZの金利据え置きを受けて全般的にドル買いが進行する中、ドル円も150円台後半まで上昇。海外時間に入り、米第4QGDP(2次速報値)が下方修正されたことを受け、一時150円台半ばまで下落するも、個人消費の項目は市場予想を上回っていたことから上昇に転じ、再度150円台後半へ。終盤にかけては小幅な値動きに終始し、150.69レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日こそ小幅反落したものの、最近の金融市場では日経平均株価の好調ぶりが目立つ。今週は27日まで3日連続で史上最高値を更新したことが話題となったが、他方、個人レベルでは全く実感がなく株高との表現が散見されるのも特徴的だ。たしかに経済統計を見れば、今月15日に発表された本邦23年4Q期の実質GDP速報値は、前期比年率△0.4%と2四半期連続の減少を示しており、日本の経済状況は寧ろリセッションの可能性すら否めず、株価の動きとは乖離が見られる。結局のところ今の局面は円安による企業収益の高上げや、インフレによる資産価格の上昇、米国経済へのソフトランディング期待などが背景にあり、バリュエーション面で過熱感こそないかもしれないが、持続的かと言われるとそうではない気がしてならない。日銀による3月か4月のマイナス金利解除観測が市場で強まる中、これからも円安地合いが持続するのか、日銀が言う賃金上昇に伴うインフレ期待は持続するのか、今の株高を支える要素が早期に崩れる可能性は低いとは言えないだろう。昨日から本日の日程でG20財務省・中央銀行総裁会議がブラジルで開催されている。会議に参加している神田財務官からは、足許の円安水準に対する牽制発言も既に出ており、引き続き同会議に参加中の日銀植田総裁の発言等にも留意しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.